

20060508

## 消費者として森林・林業基本計画に望むこと

グリーンコンシューマー東京ネット  
理事 善財裕美

長期的視点で日本の森林・林業のあり方の方向性を明確に示す総論を期待しています。

### 1. 情報の不足

- ・消費者は、日本の森林や林業の現状をある程度理解
- ・的確な情報を受け取ることを希望
- ・高コスト構造
- ・コスト高は今後の施策で解消
- ・自給率は2割、国内の森林は手入れ不足で荒廃

### 2. バランスの取れた意見収集

- ・「『木』についてのアンケート」を参考に
- ・多様な立場の意見を基本計画に反映
- ・中間のまとめの時点では非パブリックコメントを

### 3. 協働の重要性

- ・団塊の世代の大量退職と森林保全のボランティア
- ・行政はNPO団体と企業や個人とのコーディネーター役

### 4. 次世代に向けた施策展開

- ・バイオマスの推進に関しては十分配慮
- ・違法伐採木への対処は社会全体で対応
- ・対処療法ではなく長期的な展望に立った施策